

目く学校標のづ	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園生活の中で、幼児・保護者・教師が笑顔で生き生きと過ごすことができる。 ・教師同士が互いの立場を尊重し合い、忌憚のない意見を出し合うとともに、育てたい幼児像を共通理解し、協力しながら保育を進めることができる。 				
内容	重点的な取組み	評点 (4段階)	特記事項 (学校自己評価)	関係者評価 (学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等)	学校自己評価、関係者評価を踏まえた次年度の重点的な取組みの案
(教育目標) 明るく元気な子 自ら考え行動する子 心豊かな子					
育てたい幼児の姿	自分の体に関心を持ち、健康・安全に過ごそうとする	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体に関心を持ち、健康・安全に必要な生活習慣やきまりに気付いて、自分から取り組めるようにしていく ・幼児が体を存分に動かして遊ぶ環境を整え、自らやってみようとする意欲をもてるようにする 	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭の広さを生かして、サッカーや鬼ごっこなど、体を存分に動かすことができた。また、継続して和太鼓やリズムジャンプ、キッズヨガに取り組み、体幹を鍛えることや友達とリズムを合わせる楽しさや気持ちを合わせる充実感を味わうことができた。 ・保健教育においては早寝早起き・バランスのよい食事・熱中症対策等、約束表を通して保護者へ啓発していき、園でも家庭でも取り組んでいけるようにしていった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼少期に多様な運動をすることは五感の発達や運動神経の伸長に大きくつながるので、ぜひ継続していただきたい。 ・保健教育において、基本的な生活習慣などを家庭にも啓発していることが体づくりにつながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外で体を動かして遊びたくなる環境づくりの工夫を継続して行っていく。 ・今年度の幼児の姿から、次年度の保健指導や約束表のねらいについて見直しを立てていく。
	身近な環境や様々な人に自らかかわろうとする	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なことに興味を持ち、やってみようとする気持ちをもてるようにする ・様々な人とのふれ合いから親しみの気持ちをもって自らかかわろうとする力を育む 	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児が自ら好きな遊びを見付けて夢中になって遊べるように、用具やテーブルの置き場を工夫するなどして環境を工夫した。 ・1学期からペアを作り、一緒に体操をしたり、水やりをするなどペア活動を継続して行うことで、互いに親しみの気持ちをもつことにつながった。また、小中学校や地域の高齢者の方との交流も対面で実施したことでつながりができてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や人的資源を最大限に活用している。 ・ペア活動でいろいろな人とのかかわりが広がっている。 ・自分から行動する自主・自律はこれからの社会に必要とされることで素晴らしい取組である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の主体的な生活のためには、まず幼児理解が必要であり、教師間で幼児理解を深め、興味・関心を探る機会である週に一度のカンファレンス(20分間)を継続していく。 ・ペア活動は1年を通して行い、日々の活動の中でかかわることのできる場を意識してつくっていく。また、好きな遊びの時間にも遊びを通して4歳児が憧れの気持ちをもったり、5歳児が4歳児に思いやりの気持ちをもってかかわる姿につながるようにしていく。
	身近な自然にかかわるなかで、命あるものを大切にしようとする気持ちをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然とのかかわりのなかで、心動かし感動体験を積み重ねたり、思いやりの気持ちや命の大切さに気付いたりできるようにする 	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して近隣散策へ何度も出掛け。その季節にしか味わうことのできない身近な自然にふれることができた。(ツバメの巣の見学、バッタ探し、ドングリ拾いなど) ・地域の方からドングリが落ちている情報を教えていただいたり、稲の苗を分けていただいたりするなど、地域とのつながりで保育が充実した。職員も身近な地域に目を向け、保育に生かしていくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と触れあえる環境を生かした体験を積み重ねていくことが重要である。今後も継続していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師自身が地域の自然環境に興味をもってかかわり、年間を通して幼児が身近な地域の自然にふれられるように計画していく。
	自分の思いを素直にのびのびと表現する	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを素直に出す機会を大切に、自信をもってのびのびと表現できるようにする ・一人一人のよさや持ち味を丁寧に認め、自主性や意欲につながっていくようにする 	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児が表現している思いを捉え、丁寧に認めていくことで、自分なりの方法で伝えようとする姿が見られるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活発表会で、伸び伸びと自分の思いを表現している様子が見られた。日々、子供たちの思いを丁寧に受け止めているのがよく分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園から1年間で、いろいろなものにかかわったり、その中で感動したりすることが、幼児が自らの思いを伸び伸びと表現する姿につながっていく。様々な心動かし体験から幼児が自分の思いを表現する場を大切にしていく。
	友達と遊びを共有し、思いを分かり合って遊ぶ楽しさを味わう	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と思いや考えを伝え合いながら、自分たちで生活や遊びを進めていけるようにする ・友達とのかかわりのなかで、互いの思いを感じたり分かり合ったりする経験を積み重ねていけるようにする 	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの振り返りやクラス全体の活動の中で、幼児が自分の思いを出す機会を多くもち、周囲の友達から認められることで自信をもてるように支えていった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活の中で友達同士で認め合う場があることが、個々の自信へとつながっていている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達とかかわりながら、自分の考えや思いを十分に出したり、相手の考えや思いを受け入れたりする機会を大切にしたい保育を実践していく。
推進すべきこと	①教職員の業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・既に見直している取組も含め、業務改善につながるアイデアを出し合い、実践する 	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な勤務体制の職員がいる中で、限られた時間内ですべきことが終わるように計画した。職員会の時間短縮のために事前に資料の回覧するなど工夫をしていった。 ・急な欠勤に対応できるように、園務分掌に関しては係だけでなく、その他の職員も情報を共有して対応していった。 ・休みを取りやすい雰囲気にしていくことで、どの職員も長期休業中の休暇を取得できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員不足という課題もあり、教育委員会と連携した業務改善が、今後も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の方法に捉われず、職員間で業務改善につながるアイデアを出し合い、積極的に実践していく。 ・早めの計画、時間の有効的な活用をして、どの職員もが気持ちよく働ける職場環境をつくっていく。
	②「すぐ-る」の活用、ホームページにおける情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、すぐ-るの有効活用と、定期的なホームページでの情報発信の仕方を工夫する 	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐ-るのアンケート機能を活用し、保護者アンケートや預かり保育申込、個別懇談日程調整等が効率よくでき、業務改善につながっている。 ・ホームページは学期によって定期的な更新に差が出てしまったので、今後も工夫しながら取り組んでいくことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐ-るの活用が業務改善にもつながっている。 ・幼稚園存続のためにも、今後もホームページでの発信は大切にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐ-るは引き続き活用していき、園と保護者にとって便利に使用できるように工夫していく。 ・ホームページは、定期的に更新できるように、工夫しながら無理なく継続できるようにしていく。
	③学校生活のルールや決まり(校則など)について	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の実態や保護者の願い、地域との連携から、自園の特色に応じて取り組んでいく 	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA役員を中心に保護者の願いや思いを捉え、取り組んでいった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いや願いを大切に、今後も取り組んでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者の願いや思いを大切にしながら、幼稚園の取組に協力いただけるようにしていく。